



3月4日 鴻巣バンザーマラソン開会式参加

長かった2月定例会も何とか乗り切り28年度を終えることができました。それにしては、自民党県議団の所属になり、政務調査会長代理という要職を務めさせていただいたことで忙しかも充実した一年間を送らせていただきましたこと、心から感謝申し上げます。

29年度は、県議団では幹事長代理として役員を務め、特別委員会では、少子・高齢福祉社会対策特別委員会を委員長として預かり、埼玉県の喫緊の課題へしっかりと取り組んでいく所です。頑張ります。

チャレンジ通信

なかやしき 慎一

埼玉県議会自由民主党議員団

2月定例会 主な内容

2月定例会(2月20日開会)は、1兆8,644億2,700万円以上の平成29年度当初予算(一般会計)をはじめ、我々自民党県議団が提案した「埼玉農林水産業振興条例」、「防災航空隊の緊急運行業務の条例改正」などを議決し、3月27日に閉会しました。

少子高齢化が急激に進む中、出産や子育て支援策の充実も本県の未来を左右する重要な課題です。29年度予算では出生率の向上を目指す取り組みを新たにスタートさせるほか、様々な施策が進められます。また、自民党県議団で要望していた私立高校に通う生徒への支援制度として、授業料が実質無償化となる世帯の年取約609万円未満への引き上げが実現しました。

その他、県内でも痛ましい事故があった駅のホームドアについても、一日でも早い設置を進めるための支援制度が実現(約1億7,600万円計上)。高齢者の交通安全を進めるため、交差



討議資料

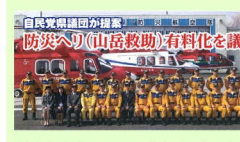
発行所 埼玉県議会 中央会館
〒365-0039 埼玉県市東3-11-18-103号
TEL 048-541-8110 FAX 048-541-0256



点の安全対策や信号機の新設・更新、高齢者の免許更新時に受ける高齢者講習の充実・強化などに向け、約39億1,900万円の予算が計上されています。

さらに、最先端産業の推進に向け、実用化・製品化が進められた「研究開発」の支援を充実させるために約1.8億8,300万円を予算化。2020東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けた埼玉スタジアムの整備、選手育成・強化、2021ラグビーワールドカップの開催に向けた熊谷ラグビー場の改修など、未来につながる政策重視の予算配分となっています。

一方、自民党県議団として「北部地域振興交流拠点機能調査事業費」の執行停止をはじめ7件について、それぞれ懸念があるとして「事業の執行に適切な対応を求めるとの附帯決議」を予算特別委員会で提案し可決されています。自民党県議団は、この平成29年度予算の確実かつより効果的な執行を見届けてまいります。そして、もっと住みよい埼玉の実現に向け、全力で県政に取り組みまいります。



自民党県議団が提案した「防災ヘリ(山岳救助)有料化を議決」

2月定例会では、自民党県議団が全国に先駆けて提出した、県の防災ヘリコプターで登山者が救助された際、5万円程度の手数料を徴収するための条例案が可決・成立しました。

山岳救助活動は、他の救助活動などと比較して、より高度な危険を伴うもので、その費用は受益者負担の観点から一定の負担を求める必要があると考えます。また、負担を求めることで登山者に注意を促し、山岳遭難に対する抑止や山岳保険への加入の啓発に繋がるものと期待しています。

自民党県議団は昨年秋から検討を重ね、県山岳連盟とのヒアリングやパブリックコメント(賛成6、反対9)などを経て改正案を提案しました。また、この改正は、秩父山中で県防災ヘリ荒川1の墜落後に制定された「埼玉県防災航空隊の緊急運行条例」の附則に示した、「山岳遭難に係る緊急運行に要した費用の遭難者等による負担及びその他の必要な方策について早急に対応するものとする。」の規定が6年間全く生かされずに来たことを受け議員提案としたものです。

今回私は、自民党県議団政調会長代理としてこの件に携わってきました。反対9件のパブリックコメントの内容は、時期尚早や実際の運用上の問題がほとんどでした。そして、この改正条例の施行日は、来年の1月1日としております。

私達議員は、動かないことを動かし改善へとつなげて行くのも大変重要な仕事です。今後執行部の皆さんが、9か月の間にその運用についてしっかりと取り組み、他県との調整なども積極的に進めるよう期待し、監視していきます。

未来への投資拡充・自民要望で前進

平成29年度一般会計(当初)予算
1兆8,644億2,700万円

●歳入(単位:千円)

